



平成 29 年 7 月 24 日

各 位

アイスタディ株式会社
代表取締役社長 小山田 佳裕
(証券コード:2345)東証第二部
東京都品川区上大崎二丁目 25 番 2 号
(お問い合わせ先)執行役員管理本部長 内山 富士子
電話 03-5773-5735

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 29 年 1 月 31 日に公表した平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正

平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 317 | 百万円 17 | 百万円 17 | 百万円 17 | 円 銭 12.79 |
| 今回修正予想(B) | 288 | △9 | △8 | △8 | △6.61 |
| 増減額(B-A) | △28 | △26 | △25 | △25 | |
| 増減率(%) | △8.9 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 | | | | | |
| (平成 28 年 12 月期第 2 四半期) | 234 | △35 | △38 | △38 | △29.15 |
| 28 年 1 月 1 日～28 年 6 月 30 日 | 250 | △19 | △23 | △19 | △14.40 |

(注) 当社は、平成28年6月17日開催の定時株主総会で、平成28年度より決算期を3月31日から12月31日に変更することを決議いたしました。従いまして、決算期変更の経過期間となる平成28年12月期第2四半期の実績については、平成28年4月1日～平成28年9月30日)の実績数値を記載しております。また、ご参考実績として当期に対応する前年同一期間である平成28年1月1日から平成28年6月30日)を記載しております。

2. 修正の理由

第 2 四半期会計期間単独では、営業利益がプラスに転じるなど、顕著な改善を図ることが出来ましたが、第 1 四半期会計期間単独のマイナス分を全て挽回することが出来ず、第 2 四半期累計期間では業績予想の下方修正となります。四半期別実績は以下の通りです。

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|---|-----|------|------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 第 1 四半期会計期間 (29年 1 月 1 日～29年 3 月 31 日) | 134 | △14 | △14 | △14 |
| 第 2 四半期会計期間 (29年 4 月 1 日～29年 6 月 30 日) | 154 | 5 | 5 | 5 |
| 第 2 四半期累計期間 | 288 | △9 | △8 | △8 |

売上高は、第 2 四半期累計期間で、計画比 91%の達成率となりました。これは第 2 四半期会計期間単独では、計画比 118%と推移しましたが、第 1 四半期会計期間単独では計画比 72%となっており、そのマイナス分を全て挽回するに至らなかったものです。セグメント別には以下の通りです。

【LMS 事業】

LMS 事業は、法人向け学習管理システム「iStudy LMS」の新規顧客複数社からの受注を成約しました。

また、4 月 1 日より法人向けビデオソリューション「Qumu」の販売を新規に開始致しました。受注案件の多くがクラウドサービスであり、売上高は契約期間で月額按分計上のストック型売上であるため、第 2 四半期会計期間は限定的な売上計上となっています。

その結果、第 2 四半期会計期間単独では計画比 117%となりましたが、第 2 四半期累計期間では計画比 89%と、第 1 四半期会計期間単独のマイナス分を全て挽回するに至りませんでした。

【研修サービス事業】

研修サービス事業は 6 月に親会社である株式会社ブイキューブよりビデオ収録・配信スタジオを取得し、そのサービス事業を開始いたしました。これにより第 2 四半期会計期間単独では計画比 120%となりましたが、第 2 四半期累計期間では計画比 94%と、IT 研修とラーニングコンテンツの販売が計画を下回ったことにより、第 1 四半期会計期間単独のマイナス分を全て挽回するには至りませんでした。

営業利益につきましては、4 月からブイキューブグループ構造改革により事業拠点統一などを図ったことによる賃借料等の固定費削減により当初計画より販管費を 10%程度削減致しましたが、売上高が計画を下回ったこと、外注費及びビデオ収録・配信スタジオの賃借料、減価償却費等の売上原価が増加したことにより業績予想を下回りました。

なお、通期につきましては、4 月より開始した法人向けビデオソリューション「Qumu」、6 月より開始した研修サービス事業の「ビデオ収録・配信サービス」の受注契約を急いでおりますが、立ち上げ時期でもあり足元を

慎重に見ております。そのため、売上高 640 百万円、営業利益 30 百万円、経常利益 27 百万円、当期純利益 27 百万円の平成 29 年 1 月 31 日に公表した通期業績予想に変更はございません。

以上

本資料に記載されている現在の計画・見通しなどのうち、既に確定した事実でないものは将来に関する見通しであり、これらは発表日現在に入手可能な各種データに基づいて作成されたものであります。従って、実際の業績は様々な不確定要素が内在しており、上記の見通しとは大きく異なる結果となり得る場合もありますので、ご承知おきください。